

上昇調アクセント型語数と下降調アクセント型語数の比率 —効率的な日本語音声指導のために—

The Ratio of Up-pitched Accent Words and Down-pitched Accent
Words in Japanese Vocabulary
—To Create A More Effective Training Method For Learning Japanese—

池田 英喜

In this article I outlined a more efficient way for Japanese learners to acquire more natural sounding Japanese. I showed they must pay more attention to the tone of the word initial position or phrase initial position rather than the formerly emphasized “pronunciation practice” of individual phonemes when they do so-called reading practice. In order to prove this, I checked the accent patterns of all the entries in an accent dictionary and showed the result.

0. はじめに

日本語に限らず、外国語の音声の指導は、母語・方言・身体的特徴等、学習者が個人レベルで抱えている問題がそれぞれ大きく異なることから、教室でクラス単位で指導することがなかなか難しい。そしてこのことは、外国語指導担当者の多くが抱える共通の問題でもある。そのため多くの場合、“通じる言語”の習得を目指すという大義名分のもと、意味学習を重視し、自然な音声の習得は、文字通り自然な習得に任されてしまう。本稿では、日本語のトーンの特徴を簡単な調査によりあぶり出し、教室での日本語音声指導の際の一つの大きなヒントを提供する。

1. 問題提起

標準日本語の持つアクセントの大きな特徴は、1拍目と2拍目の音のピッチが必ず変わる点にあることは周知の事実である。このことは学習者の多くも教室で学んでいる。ただ問題は、その音のピッチ変化が語によって決まっており、学習者は個々の語についていちいち個別にアクセント型を覚えていかなければならない点にある。加えて、同じ語であっても他の語と結びついて用いられる（複合語）際には、アクセントの型が変化することも普通の現象なので、せっかく覚えた個々の語のアクセント型が役に立たなくなり、学習者のアクセント

習得へのモチベーションを大きく下げることにつながる。その結果「はじめに」でも述べたように“通じる日本語”の習得を目指すためと称して意味学習を重視し、アクセントを含めた自然な日本語音声の学習・習得は後回しにされてしまう。そして、ある程度学習が進んで実際に日本語母語話者と日本語で会話をするようになると、当然日本語らしい日本語の音でのやり取りができないということが起こる。かくして、将来日本の企業で働きたいとか、日本の大学院で学位を取得したいといった、モチベーションの非常に高い学習者以外の一般の日本語学習者は、自然な日本語音声習得の機会を失い、習得自体をあきらめてしまいかねない。

また、自分の不自然な日本語の音声に気付いて練習する学習者も、多くは日本語の発音に問題があると思いき、一生懸命発音練習に取り組む姿が見られる。事実私のところに相談に来る学生も、日本語の“発音”の悪さの相談に来る学生が多い。しかし発音は、単独の音（音素）をどのように産出するかということの問題にするのであって、発話された音声総体としての日本語らしさを生み出すことにそれほど貢献してはいない。母語話者にとって自然に聞こえる日本語は、個々の音の適切さ、つまり発音の適切さより、発話された音声総体としての抑揚（アクセント、イントネーション）とリズムが日本語らしいものであり、あくまで発話総体として“何となく”日本語らしく響くものであるという事実には、習う側も教える側もあまり気付いていない。

ここまで2つの問題点を明らかにしたので以下に整理する。

- ① まずアクセントは必ずしも語ごとに決まっているわけではなく、どういう語と一緒に用いられるか、どういう環境でその語が用いられるかによって変化するものであるということ。これを教室で教えるにはどうするのか。
- ② なんとなく日本語らしく聞こえる発話総体を作り出すために、何か鍵になるような情報はないか。

この2つの問いに答えるべく、アクセントについてのちょっとした調査を行ったので、その結果を本稿では報告する。

2. 調査方法

アクセントは音のピッチ変化、リズムは音の長短によって作り出され、全体としての言語らしさを作り出す元となっている。ここでは音のピッチ変化の特徴を、単純な方法で調べた。調査方法は『NHK日本語発音アクセント辞典』各ページの見出し語数と、下降調（頭高型）アクセントを持つ語を数え、そこから下降調（頭高型）アクセントを持つ語の全体の中に占める比率を調べるというものである。その際、ページ毎に見出し語数と下降調アクセント語数を比較し、後者の割合が、30%以上になるものについてはその出現環境をチェックしてみた。ここでの30%という数字は、全体の中での下降調の語の割合が約14%であったことから、これの倍を超える割合で出現する場合はそこに何らかの音声的特徴があるに違いないと考えたからにすぎない。

実際の調査には、新潟大学大学院現代社会文化研究科の授業科目『日本語教育Ⅰ』に参加している学生（指名所属等は本稿末に記す）の協力を仰いだ。この授業では日本語の音声指導についてを講義していたので、実際の日本語のアクセントがどのようになっているのか、調査を通して認識させることを狙ってのものである。

3. 調査結果

見出し語数：63380

下降調語数：8747

比率：13.8%

1 ページ内で、見出し語数に対する下降調語数の比率が30%を超える環境をあげると以下のようなになる。

アイ アウ

カー/ガー キャ コーヒ コーフ コーホ

サー サイ/ザイ サン/ザン シ シー/ジー シェー シャン シュー/ジュー

ター タイ/ダイ ダレ タンカ/ダンカ チー チェ ドウ

ナン

ハ パー/バー パン ヒュー/ピュー ヒン ファ フー/フォー ヘル ホン

ミラ ミリ ミル ミン モン

リー リョー ルー レス レツ ロー ロジ ロス ロッ

ワイ

数え間違い等の可能性を考慮しても、下降調の語は全体の14%に満たないというのは1つの傾向を示していると言えよう。また、その中で30%を超える確率で下降調の語が出現する環境というのもこれからさらに詳しく調べてみる価値はありそうだ。実際に精査したわけではないのでおおよそに過ぎないのだが、上の語頭を持つ語の多くは外来語由来のカタカナ語のものであったことをここに付しておく。

4. 考察

詳細には言えない調査ではあるが、日本語の語の持つアクセント型には下降調の語の数が圧倒的に少ないということが明らかになった。このデータがある以上、母語としての音声情報を持たない学習者が、日本語の文章を初見で音読する際には、とりあえず下降調ではなく上昇調で読み始めるべきだと言える。意味の頭には助詞や助動詞と言った、いわゆる機能語が登場することはないので、つまりは必ず意味を持ったある語の頭が出現するので、その語のアクセント型を知らないのであれば、まず上昇調で読んでおけば、正しいアクセント型（もしくはそれに近い型）で読んでいる可能性が高いことになる。

以下に、日本語音声指導の授業の中で実際に調査結果を応用した練習を紹介する。まず、以下のような例文を日本語学習者が音読するという状況を設定する。学習者は以下に紹介するニュースを見聞きした経験はなく、いわゆる初見での音読である。

震災で福島県内の全線が被災したJR常磐線（じょうばんせん）に、福島県で初めての女性運転士が誕生しました。福島県内で初めての女性運転士となったのが、いわき市出身の櫛田裕子（くしだ・ひろこ）さんです。見習い期間を経て、今年1月から独り立ちしました。担当するのは、福島県の広野駅から上野駅までの区間です。櫛田さんは「乗務を始めてから、沿線のお客様から手を振られたり、『行ってらっしゃい』と声をかけられることが、とてもうれしかったです」と話した。

JR常磐線は、原発事故の影響で、福島県内の復旧率は、およそ半分にとどまっています。櫛田さんは、常磐線の復興のシンボルとなれるよう活躍を誓っていました。

フジテレビ系（FNN）11月6日（火）13時2分配信ニュースより

この音読素材を以下の指示通り学習者自身の手で加工する。ただし、波線部分はインタビューのためここでは省略した。

- ① 以下のニュースをすべてかな書きに変える。
- ② 助詞の後ろですべて区切る。

加工結果は以下のとおりである。

しんさいで ふくしまけんないの ぜんせんが ひさいした
じえいあーるじょうばんせん^に、ふくしまけん^で はじめての
じよせいうんてんしが たんじょうしました。
ふくしまけんないで はじめての じよせいうんてん^しとなったのが、
いわきししゅっしんの くしだひろこさんです。
みならいきかんを へて、ことし1がつから ひとりだちしました。
たんとうするのは、ふくしまけんの ひろのえきから うえのえきまでの
くかんです。
じえいあーるじょうばんせんは、げんぱつじこの えいきょうで、
ふくしまけんないの ふっきゅうりつは、およそはんぶん^に
とどまっています。
くしださんは、じょうばんせんの ふっこうの シンボルと なれるよう
かつやくを ちかっていました。

意味の頭：36か所 上昇調：33か所(91.7%) 下降調：3か所(8.3%)

上昇調アクセント型語数と下降調アクセント型語数の比率

学習者はこれを音読するのだが、下線を引いたところのピッチを必ず上昇調にするように注意して読むように教室では指示する。上の例文の中には意味の頭が36か所ある。その中で、実際に下降調に読まなければならない個所は、「ぜんせんで・へて・シンボルと」のわずか3か所（8.3%）にすぎない。この文章の中には外来語由来のカタカナ語はシンボルだけであることを考えると、外来語由来のカタカナ語を除いた日本語の語で、下降調で読むべき語は、相当限られたものになるのではないだろうか。

つまりこの調査結果を頭に入れた上で、意味の頭のピッチの上下を間違えずに読みさえすれば、全体的にかなり日本語らしいトーンで文章を読むことができると予想される。しかも学習者はこれまでのように常に緊張を強いられるわけではなく、基本的に語頭のピッチの上下にのみ意識を集中させることができるので、より効率的に音声のトレーニングが行われる可能性がある。

発話に使用されるエネルギー（＝呼気）は語頭が一番強く、徐々に弱くなり、息継ぎを経てまた語頭で強くなるというのを繰り返す。特に日本語の場合には語末もしくは文末では、本来有声の音であっても無声化して息だけで話されるような場合がよくみられる。それならば、語頭、もしくは意味の頭のピッチの上下（＝アクセント）を間違えないように発話することが、自然な日本語発話への近道になると考えることができるだろう。

もちろん語のアクセントを完全なものにできるに越したことはないが、それはあくまで最終到達目標であり、そこに至るまでの過程では、せめて語の、言い換えれば意味の頭のピッチの上げ下げを間違わないように意識することが、日本語らしい音の連続を生み出すためには必要だと考えるのである。

こうして、下降調の語だけを注意して覚えていけば、少なくとも発話の初めの部分でのトーンの誤りを防ぐことができ、結果として上手に日本語を話しているという印象を聞き手に与えることができるのではないかというのが私の仮説である。

5. おわりに

音声的環境のみならず意味的環境も含めて、どういう環境にある語が語頭に下降調のアクセントを持つか、詳細に調べてみる必要があるようである。この点は次稿に向けての課題としたい。

もちろん上昇調のアクセントを持つ語もその型は一つではないが、少なくとも発話の際に一番エネルギーを持った部分をいかに間違わずに発話させるかという点について、日本語教授者はもう少し注意を向けても良いのではないだろうか。

6. 調査協力者

顔 歓（ガン・カン）

朱 暁暉（シュ・ギョウキ）

周 秋実 (シュウ・シュウジツ)

田 恵芬 (デン・ケイブン)

以上 新潟大学現代社会文化研究科博士前期 (修士) 課程社会文化専攻国際日本文化分野 1 年次在籍

于 佳佳 (ウ・カカ)

山際 美香 (ヤマギワ・ミカ)

以上 新潟大学現代社会文化研究科博士前期 (修士) 課程社会文化専攻アジア言語文化分野 1 年次在籍

GREUGNY, Emmanuelle (グレニ・エマニュエル)

ボルドー第 3 大学外国語学部在籍、新潟大学現代社会文化研究科特別聴講学生

7. 参考文献

池田英喜 (2008) 「日本語の音声指導事例紹介-その 1- —ベトナム語母語話者の場合—」『新潟大学国際センター紀要第 4 号』新潟大学国際センター

——— (2009) 「日本語の音声指導事例紹介-その 2- —中国簿母語話者の指導から見えてきたもの—」『新潟大学国際センター紀要第 5 号』新潟大学国際センター

——— (2010) 「日本語の音声指導事例紹介-その 3- —日本語のピッチ変化の特徴をとらえる—」『新潟大学国際センター紀要第 6 号』新潟大学国際センター

磯村一弘 (1996) 「アクセント型の意識化が外国人日本語学習者の韻律に与える影響」『日本語国際センター紀要 第 6 号』国際交流基金日本語国際センター

坂野信彦 (1996) 『七五調の謎を解く 日本語リズム原論』大修館書店

杉藤美代子 (1997) 『—日本語音声 2— アクセント・イントネーション・リズムとポーズ』三省堂

NHK放送文化研究所 (1998) 『新版日本語発音アクセント辞典』NHK出版

池田 英喜

| ページ | 見出し | 下降額 | 比率 |
|-------------|------------|--------------|-------|
| 501 | 60 | 9 | 15.0% |
| 502 | 62 | 10 | 16.1% |
| 503 | 63 | 15 | 23.8% |
| 504 | 63 | 5 | 7.9% |
| 505 | 62 | 3 | 4.8% |
| 506 | 57 | 10 | 17.5% |
| 507 | 59 | 5 | 8.5% |
| 508 | 63 | 6 | 9.5% |
| 509 | 59 | 4 | 6.8% |
| 510 | 64 | 6 | 9.4% |
| 511 | 61 | 7 | 11.5% |
| 512 | 59 | 7 | 11.9% |
| 513 | 61 | 14 | 23.0% |
| 514 | 23 | 13 | 56.5% |
| 515 | 56 | 19 | 33.9% |
| 516 | 60 | 9 | 15.0% |
| 517 | 58 | 12 | 20.7% |
| 518 | 60 | 11 | 18.3% |
| 519 | 55 | 14 | 25.5% |
| 520 | 55 | 5 | 9.1% |
| 521 | 60 | 10 | 16.7% |
| 522 | 63 | 9 | 14.3% |
| 523 | 61 | 7 | 11.5% |
| 524 | 59 | 10 | 16.9% |
| 525 | 60 | 9 | 15.0% |
| 526 | 59 | 9 | 15.3% |
| 527 | 57 | 2 | 3.5% |
| 528 | 60 | 5 | 8.3% |
| 529 | 56 | 11 | 19.6% |
| 530 | 58 | 1 | 1.7% |
| 531 | 59 | 10 | 16.9% |
| 532 | 60 | 10 | 16.7% |
| 533 | 52 | 5 | 9.6% |
| 534 | 59 | 5 | 8.5% |
| 535 | 55 | 0 | 0.0% |
| 536 | 58 | 5 | 8.6% |
| 537 | 62 | 8 | 12.9% |
| 538 | 61 | 2 | 3.3% |
| 539 | 54 | 1 | 1.9% |
| 540 | 62 | 7 | 11.3% |
| 541 | 62 | 9 | 14.5% |
| 542 | 60 | 6 | 10.0% |
| 543 | 59 | 2 | 3.4% |
| 544 | 61 | 6 | 9.8% |
| 545 | 58 | 9 | 15.5% |
| 546 | 55 | 18 | 32.7% |
| 547 | 59 | 11 | 18.6% |
| 548 | 61 | 11 | 18.0% |
| 549 | 57 | 9 | 15.8% |
| 550 | 54 | 11 | 20.4% |
| 551 | 59 | 14 | 23.7% |
| 552 | 57 | 21 | 36.8% |
| 553 | 63 | 7 | 11.1% |
| 554 | 64 | 9 | 14.1% |
| 555 | 60 | 9 | 15.0% |
| 556 | 62 | 18 | 29.0% |
| 557 | 62 | 13 | 21.0% |
| 558 | 56 | 12 | 21.4% |
| 559 | 62 | 7 | 11.3% |
| 560 | 59 | 11 | 18.6% |
| 561 | 55 | 14 | 25.5% |
| 562 | 61 | 6 | 9.8% |
| 563 | 62 | 7 | 11.3% |
| 564 | 61 | 8 | 13.1% |
| 565 | 57 | 16 | 28.1% |
| 566 | 57 | 11 | 19.3% |
| 567 | 55 | 5 | 9.1% |
| 568 | 59 | 13 | 22.0% |
| 569 | 59 | 11 | 18.6% |
| 570 | 56 | 9 | 16.1% |
| 571 | 52 | 10 | 19.2% |
| 572 | 59 | 11 | 18.6% |
| 573 | 59 | 10 | 16.9% |
| 574 | 57 | 9 | 15.8% |
| 575 | 63 | 13 | 20.6% |
| 576 | 63 | 8 | 12.7% |
| 577 | 60 | 2 | 3.3% |
| 578 | 58 | 0 | 0.0% |
| 579 | 65 | 0 | 0.0% |
| 580 | 52 | 2 | 3.8% |
| 581 | 61 | 1 | 1.6% |
| 582 | 60 | 0 | 0.0% |
| 583 | 59 | 0 | 0.0% |
| 584 | 61 | 9 | 14.8% |
| 585 | 61 | 6 | 9.8% |
| 586 | 64 | 4 | 6.3% |
| 587 | 60 | 4 | 6.7% |
| 588 | 65 | 2 | 3.1% |
| 589 | 55 | 6 | 10.9% |
| 590 | 61 | 8 | 13.1% |
| 591 | 62 | 6 | 9.7% |
| 592 | 63 | 8 | 12.7% |
| 593 | 63 | 14 | 22.2% |
| 594 | 63 | 12 | 19.0% |
| 595 | 60 | 8 | 13.3% |
| 596 | 59 | 12 | 20.3% |
| 597 | 64 | 12 | 18.8% |
| 598 | 62 | 10 | 16.1% |
| 599 | 62 | 10 | 16.1% |
| 600 | 63 | 4 | 6.3% |
| 5923 | 824 | 13.9% | |

| ページ | 見出し | 下降額 | 比率 |
|-------------|------------|--------------|-------|
| 601 | 59 | 9 | 15.3% |
| 602 | 60 | 15 | 25.0% |
| 603 | 63 | 7 | 11.1% |
| 604 | 60 | 8 | 13.3% |
| 605 | 57 | 16 | 28.1% |
| 606 | 60 | 11 | 18.3% |
| 607 | 61 | 6 | 9.8% |
| 608 | 61 | 6 | 9.8% |
| 609 | 57 | 9 | 15.8% |
| 610 | 58 | 6 | 10.3% |
| 611 | 60 | 14 | 23.3% |
| 612 | 60 | 8 | 13.3% |
| 613 | 56 | 15 | 26.8% |
| 614 | 52 | 9 | 17.3% |
| 615 | 60 | 11 | 18.3% |
| 616 | 59 | 14 | 23.7% |
| 617 | 58 | 11 | 19.0% |
| 618 | 57 | 8 | 14.0% |
| 619 | 58 | 12 | 20.7% |
| 620 | 59 | 13 | 22.0% |
| 621 | 59 | 18 | 30.5% |
| 622 | 60 | 8 | 13.3% |
| 623 | 61 | 5 | 8.2% |
| 624 | 59 | 12 | 20.3% |
| 625 | 61 | 11 | 18.0% |
| 626 | 56 | 5 | 8.9% |
| 627 | 55 | 6 | 10.9% |
| 628 | 61 | 10 | 16.4% |
| 629 | 60 | 6 | 10.0% |
| 630 | 61 | 8 | 13.1% |
| 631 | 62 | 5 | 8.1% |
| 632 | 60 | 6 | 10.0% |
| 633 | 62 | 4 | 6.5% |
| 634 | 57 | 11 | 19.3% |
| 635 | 61 | 11 | 18.0% |
| 636 | 55 | 7 | 12.7% |
| 637 | 57 | 10 | 17.5% |
| 638 | 58 | 10 | 17.2% |
| 639 | 63 | 7 | 11.1% |
| 640 | 64 | 7 | 10.9% |
| 641 | 63 | 12 | 19.0% |
| 642 | 62 | 6 | 9.7% |
| 643 | 58 | 2 | 3.4% |
| 644 | 57 | 4 | 7.0% |
| 645 | 56 | 0 | 0.0% |
| 646 | 51 | 1 | 2.0% |
| 647 | 54 | 0 | 0.0% |
| 648 | 58 | 9 | 15.5% |
| 649 | 63 | 5 | 7.9% |
| 650 | 58 | 14 | 24.1% |
| 651 | 55 | 11 | 20.0% |
| 652 | 30 | 10 | 33.3% |
| 653 | 63 | 11 | 17.5% |
| 654 | 63 | 10 | 15.9% |
| 655 | 62 | 2 | 3.2% |
| 656 | 63 | 2 | 3.2% |
| 657 | 63 | 2 | 3.2% |
| 658 | 61 | 2 | 3.3% |
| 659 | 59 | 7 | 11.9% |
| 660 | 64 | 6 | 9.4% |
| 661 | 59 | 5 | 8.5% |
| 662 | 53 | 19 | 35.8% |
| 663 | 59 | 7 | 11.9% |
| 664 | 59 | 0 | 0.0% |
| 665 | 62 | 6 | 9.7% |
| 666 | 61 | 5 | 8.2% |
| 667 | 62 | 7 | 11.3% |
| 668 | 63 | 10 | 15.9% |
| 669 | 61 | 25 | 41.0% |
| 670 | 56 | 13 | 23.2% |
| 671 | 63 | 7 | 11.1% |
| 672 | 61 | 1 | 1.6% |
| 673 | 59 | 2 | 3.4% |
| 674 | 58 | 7 | 12.1% |
| 675 | 61 | 14 | 23.0% |
| 676 | 63 | 6 | 9.5% |
| 677 | 52 | 4 | 7.7% |
| 678 | 61 | 6 | 9.8% |
| 679 | 58 | 7 | 12.1% |
| 680 | 61 | 6 | 9.8% |
| 681 | 58 | 11 | 19.0% |
| 682 | 52 | 9 | 17.3% |
| 683 | 61 | 8 | 13.1% |
| 684 | 57 | 16 | 28.1% |
| 685 | 60 | 10 | 16.7% |
| 686 | 63 | 5 | 7.9% |
| 687 | 59 | 3 | 5.1% |
| 688 | 59 | 9 | 15.3% |
| 689 | 57 | 6 | 10.5% |
| 690 | 58 | 1 | 1.7% |
| 691 | 64 | 9 | 14.1% |
| 692 | 60 | 6 | 10.0% |
| 693 | 60 | 6 | 10.0% |
| 694 | 60 | 8 | 13.3% |
| 695 | 60 | 9 | 15.0% |
| 696 | 56 | 10 | 17.9% |
| 697 | 63 | 11 | 17.5% |
| 698 | 62 | 10 | 16.1% |
| 699 | 61 | 6 | 9.8% |
| 700 | 57 | 10 | 17.5% |
| 5909 | 811 | 13.7% | |

| ページ | 見出し | 下降額 | 比率 |
|-------------|------------|--------------|-------|
| 701 | 60 | 11 | 18.3% |
| 702 | 60 | 7 | 11.7% |
| 703 | 60 | 0 | 0.0% |
| 704 | 30 | 5 | 16.7% |
| 705 | 59 | 24 | 40.7% |
| 706 | 60 | 15 | 25.0% |
| 707 | 59 | 12 | 20.3% |
| 708 | 62 | 8 | 12.9% |
| 709 | 59 | 3 | 5.1% |
| 710 | 58 | 5 | 8.6% |
| 711 | 59 | 7 | 11.9% |
| 712 | 59 | 11 | 18.6% |
| 713 | 63 | 4 | 6.3% |
| 714 | 56 | 5 | 8.9% |
| 715 | 58 | 16 | 27.6% |
| 716 | 59 | 11 | 18.6% |
| 717 | 61 | 11 | 18.0% |
| 718 | 61 | 4 | 6.6% |
| 719 | 61 | 8 | 13.1% |
| 720 | 58 | 6 | 10.3% |
| 721 | 59 | 8 | 13.6% |
| 722 | 60 | 8 | 13.3% |
| 723 | 57 | 7 | 12.3% |
| 724 | 54 | 7 | 13.0% |
| 725 | 56 | 2 | 3.6% |
| 726 | 59 | 6 | 10.2% |
| 727 | 59 | 8 | 13.6% |
| 728 | 59 | 8 | 13.6% |
| 729 | 55 | 6 | 10.9% |
| 730 | 61 | 3 | 4.9% |
| 731 | 61 | 6 | 9.8% |
| 732 | 63 | 1 | 1.6% |
| 733 | 56 | 1 | 1.8% |
| 734 | 60 | 3 | 5.0% |
| 735 | 60 | 6 | 10.0% |
| 736 | 60 | 11 | 18.3% |
| 737 | 57 | 4 | 7.0% |
| 738 | 58 | 10 | 17.2% |
| 739 | 59 | 1 | 1.7% |
| 740 | 56 | 3 | 5.4% |
| 741 | 60 | 9 | 15.0% |
| 742 | 62 | 5 | 8.1% |
| 743 | 61 | 10 | 16.4% |
| 744 | 57 | 14 | 24.6% |
| 745 | 63 | 14 | 22.2% |
| 746 | 60 | 13 | 21.7% |
| 747 | 60 | 9 | 15.0% |
| 748 | 60 | 18 | 30.0% |
| 749 | 59 | 10 | 16.9% |
| 750 | 60 | 14 | 23.3% |
| 751 | 61 | 13 | 21.3% |
| 752 | 66 | 29 | 43.9% |
| 753 | 65 | 14 | 21.5% |
| 754 | 62 | 7 | 11.3% |
| 755 | 58 | 0 | 0.0% |
| 756 | 61 | 3 | 4.9% |
| 757 | 61 | 13 | 21.3% |
| 758 | 59 | 6 | 10.2% |
| 759 | 58 | 9 | 15.5% |
| 760 | 62 | 11 | 17.7% |
| 761 | 60 | 16 | 26.7% |
| 762 | 59 | 5 | 8.5% |
| 763 | 60 | 4 | 6.7% |
| 764 | 59 | 6 | 10.2% |
| 765 | 65 | 4 | 6.2% |
| 766 | 64 | 3 | 4.7% |
| 767 | 60 | 0 | 0.0% |
| 768 | 62 | 0 | 0.0% |
| 769 | 51 | 0 | 0.0% |
| 770 | 64 | 5 | 7.8% |
| 771 | 62 | 15 | 24.2% |
| 772 | 63 | 12 | 19.0% |
| 773 | 60 | 10 | 16.7% |
| 774 | 56 | 7 | 12.5% |
| 775 | 57 | 21 | 36.8% |
| 776 | 61 | 11 | 18.0% |
| 777 | 61 | 9 | 14.8% |
| 778 | 58 | 12 | 20.7% |
| 779 | 58 | 9 | 15.5% |
| 780 | 63 | 10 | 15.9% |
| 781 | 62 | 14 | 22.6% |
| 782 | 62 | 17 | 27.4% |
| 783 | 53 | 18 | 34.0% |
| 784 | 61 | 22 | 36.1% |
| 785 | 64 | 14 | 21.9% |
| 786 | 65 | 21 | 32.3% |
| 787 | 62 | 26 | 41.9% |
| 788 | 62 | 8 | 12.9% |
| 789 | 57 | 3 | 5.3% |
| 790 | 64 | 8 | 12.5% |
| 791 | 62 | 1 | 1.6% |
| 792 | 61 | 3 | 4.9% |
| 793 | 58 | 6 | 10.3% |
| 794 | 63 | 12 | 19.0% |
| 795 | 56 | 7 | 12.1% |
| 796 | 59 | 6 | 10.2% |
| 797 | 61 | 5 | 8.2% |
| 798 | 56 | 3 | 5.4% |
| 799 | 62 | 4 | 6.5% |
| 800 | 60 | 12 | 20.0% |
| 5961 | 872 | 14.8% | |

| ページ | 見出し | 下降額 | 比率 |
|-----|-----|-----|-------|
| 801 | 60 | 7 | 11.7% |
| 802 | 56 | 7 | 12.5% |
| 803 | 61 | 2 | 3.3% |
| 804 | 63 | 8 | 12.7% |
| 805 | 63 | 8 | 12.7% |
| 806 | 62 | 5 | 8.1% |
| 807 | 65 | 8 | 12.3% |
| 808 | 60 | 8 | 13.3% |
| 809 | 57 | 8 | 14.0% |
| 810 | 59 | 2 | 3.4% |
| 811 | 60 | 10 | 16.7% |
| 812 | 62 | 6 | 9.7% |
| 813 | 59 | 8 | 13.6% |
| 814 | 56 | 2 | 3.6% |
| 815 | 56 | 0 | 0.0% |
| 816 | 57 | 10 | 17.5% |
| 817 | 61 | 8 | 13.1% |
| 818 | 60 | 6 | 10.0% |
| 819 | 58 | 11 | 19.0% |
| 820 | 58 | 13 | 22.4% |
| 821 | 60 | 11 | 18.3% |
| 822 | 56 | 10 | 17.9% |
| 823 | 61 | 13 | 21.3% |
| 824 | 60 | 15 | 25.0% |
| 825 | 58 | 9 | 15.5% |
| 826 | 64 | 8 | 12.5% |
| 827 | 59 | 11 | 18.6% |
| 828 | 58 | 18 | 31.0% |
| 829 | 65 | 11 | 16.9% |
| 830 | 60 | 12 | 20.0% |
| 831 | 55 | 8 | 14.5% |
| 832 | 59 | 15 | 25.4% |
| 833 | 60 | 12 | 20.0% |
| 834 | 61 | 12 | 19.7% |
| 835 | 60 | 10 | 16.7% |
| 836 | 53 | 14 | 26.4% |
| 837 | 54 | 4 | 7.4% |
| 838 | 59 | | |

上昇調アクセント型語数と下降調アクセント型語数の比率

| ページ | 見出し | 下降調 | 比率 |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 1001 | 61 | 13 | 21.3% |
| 1002 | 59 | 15 | 25.4% |
| 1003 | 60 | 6 | 10.0% |
| 1004 | 60 | 8 | 13.3% |
| 1005 | 65 | 3 | 4.6% |
| 1006 | 63 | 9 | 14.3% |
| 1007 | 32 | 6 | 18.8% |
| 1008 | 400 | 60 | 15.0% |
| total | 63360 | 8747 | 13.8% |

| ページ | 見出し | 下降調 | 比率 |
|------|------------|------------|--------------|
| 1009 | 60 | 18 | 30.0% |
| 1010 | 65 | 19 | 29.2% |
| 1011 | 66 | 23 | 34.8% |
| 1012 | 66 | 25 | 37.9% |
| 1013 | 65 | 23 | 35.4% |
| 1014 | 66 | 21 | 31.8% |
| 1015 | 64 | 33 | 51.6% |
| 1016 | 64 | 38 | 59.4% |
| 1017 | 64 | 19 | 29.7% |
| 1018 | 67 | 30 | 44.8% |
| 1019 | 67 | 13 | 19.4% |
| 1020 | 66 | 24 | 36.4% |
| 1021 | 63 | 23 | 36.5% |
| 1022 | 63 | 23 | 36.5% |
| 1023 | 27 | 12 | 44.4% |
| | 933 | 344 | 36.9% |